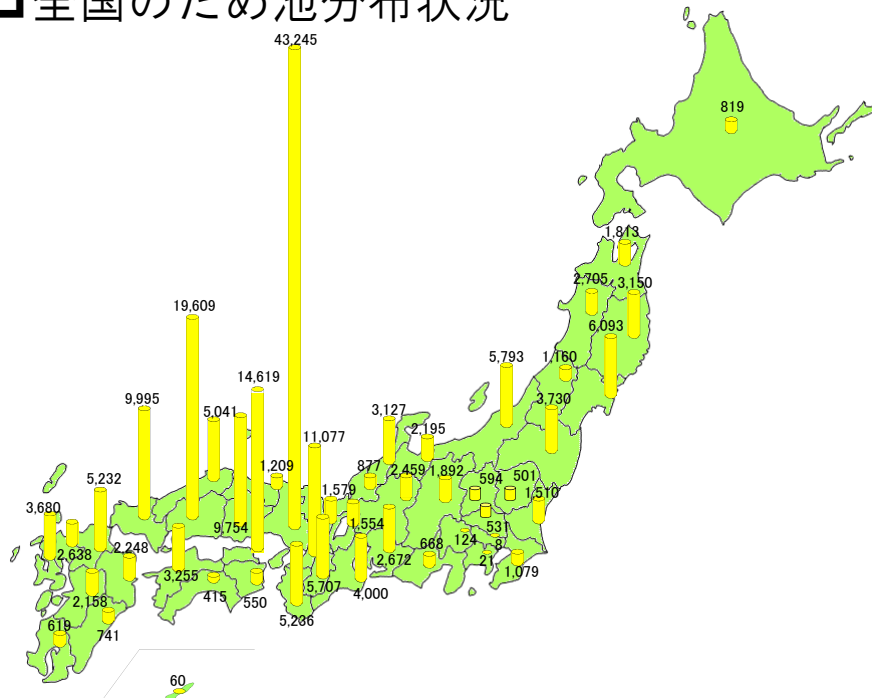


ため池とは

- ・降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域などで、農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造成された池のことです。
- ・ため池は全国に約20万か所存在し、西日本を中心に全国に分布しています。
- ・瀬戸内地域は年間を通じて降水量が少ないことから、古くからため池が築造され全国の約6割が存在しています。

□全国のため池分布状況

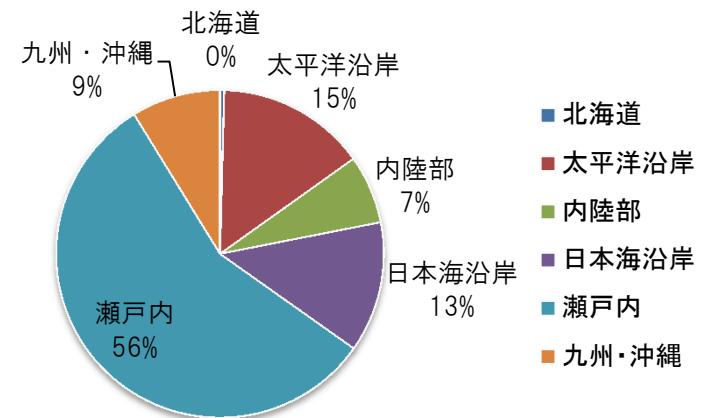
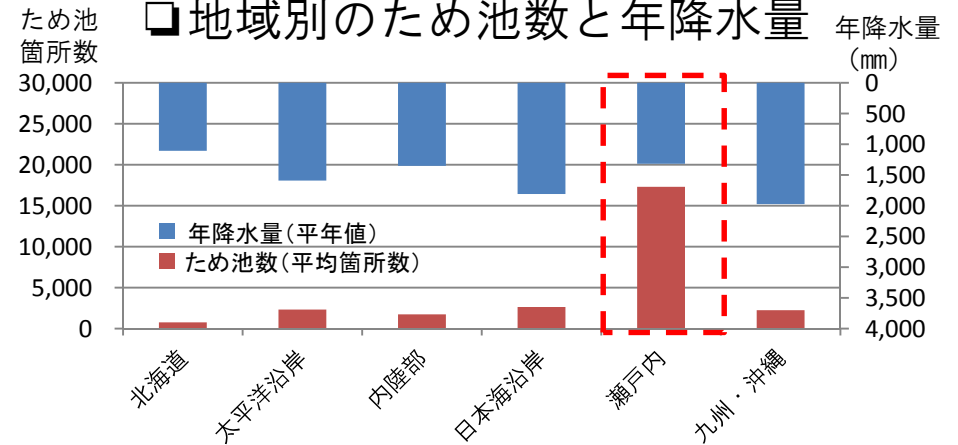


No.	都道府県名	箇所数	No.	都道府県名	箇所数
1	兵庫県	43,245	6	岡山県	9,754
2	広島県	19,609	7	宮城県	6,093
3	香川県	14,619	8	新潟県	5,793
4	大阪府	11,077	9	奈良県	5,707
5	山口県	9,995	10	和歌山県	5,236

資料：H26.3 農村振興局調べ

全国合計 197,742

□地域別のため池数と年降水量



年降水量：1981～2010の都道府県内気象台の平年値を地域別の都道府県平均としたもの（気象庁より）
 ため池箇所数：平成26年時点のため池箇所数を地域別の都道府県平均としたもの
 太平洋沿岸：岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、神奈川県、東京都、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、高知県
 内陸部：栃木県、群馬県、埼玉県、長野県、山梨県、岐阜県、滋賀県、奈良県
 日本海沿岸：青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、鳥取県、島根県
 瀬戸内：大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県